

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科 アニメーションコース											
プロダクションワーク 2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	45	単位	3
担当教員	平岡栄一			実務 経験	有	職種	映像編集				
授業概要											
制作における計画性や制作プロセスなどの基本的な考え方を学ぶ。											
到達目標											
アニメ制作のデジタル制作ツールを使いこなしつつ、2D作画以外の映像制作の手法を理解する。その技術をアニメ制作に応用し、幅広い表現力を身につけられるようになる。ポートフォリオ制作やアニメ業界の職種研究、進路選択のための情報を得ることも目標とする。											
授業方法											
個人ワークとグループ制作を採り入れる。個人制作で自らの特性、得意な分野を見極めた上でグループ制作に入り、異なる得意スキルを持ったクラスメイトと共同で制作に取り組むことによりコミュニケーションを発達させ、またクラスメイトの作品から積極的に学ぶものを取り入れてほしい。											
成績評価方法											
課題を総合的に評価する他、授業時間内に行われる中間チェック、内容についても評価する。											
履修上の注意											
授業の特性により個人指導と全体講義を併せて行う。各自の課題制作の途上、あるいは完成後のチェック作業から個別指導となる。											
教科書教材											
ハードディスク、USBメモリなど											
回数	授業計画										
第1回	導入レイアウト撮影等様々な撮影について										
第2回	修了制作(1)レイアウト撮スキャン方法										
第3回	修了制作(2)レイアウト撮解像度										

2020年度 日本工学院八王子専門学校

マンガ・アニメーション科 アニメーションコース

プロダクションワーク 2

第4回	修了制作(3)レイアウト撮色深度
第5回	修了制作(4)コンテ撮について
第6回	中間講評会第一回
第7回	修了制作(6)レイアウト撮コンポジット
第8回	修了制作(7)原撮、動撮
第9回	修了制作(8)タイムシート読み込みと反映
第10回	中間講評会第二回今後のスケジュール確認、更新
第11回	修了制作(9)タイミング撮
第12回	修了制作(10)エフェクト
第13回	修了制作(11)カメラワーク
第14回	修了制作(12)本撮
第15回	修了制作(13)ダビング、音響編集

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科 キャラクターデザインコース											
プロダクションワーク 2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	45	単位	3
担当教員	中村緑			実務 経験	有	職種	プランナー、デザイナー				
授業概要											
①AdobeIllustrator応用演習、②課題1：マークorキャラ入り名刺、③課題2：アバターキャラクターorUIボタンデザイン、④課題3：Portfolio制作											
到達目標											
AdobeIllustratorの応用操作とデザイン構築の基礎を学びながら作品を制作する。また、後半には各自Portfolioの本制作を行うことができる。平行して印刷、またはゲームシーンを想定したデザイン制作を行うことができる。											
授業方法											
①PDFにて演習と課題を配布する。②説明しながら、一緒に演習制作物を作成する。課題の場合は随時相談とチェックを交えて各学生のペースで作品を制作する。③完成作品の講評を行う。（全体講評と個別講評）											
成績評価方法											
指示説明をよく読み、聞き、正確に演習と課題を行うこと。提出期限、提出物の仕様、制作のルールを守ること。完成させることと完成度を高めること。以上3点を主に評価する。独創性、クオリティを付加価値として判断材料とする。											
履修上の注意											
データや備品忘れをしないよう注意すること。提出物は再確認して提出すること。Portfolioとは平行作業となる。各課題の完成までの作業時間を調整しながら作業を進めること。											
教科書教材											
AdobeHPより部分的に応用操作のマニュアルを印刷したもの、講師が用意した演習テキスト											
回数	授業計画										
第1回	演習1：マークデザイントレース演習（グラデーション・透明機能）										
第2回	課題1：マーク（orキャラ）入り名刺制作名刺説明フォーマット作成										
第3回	課題1：マーク（orキャラ）入り名刺制作										

2020年度 日本工学院八王子専門学校

マンガ・アニメーション科 キャラクターデザインコース

プロダクションワーク 2

第4回	課題1：マーク（orキャラ）入り名刺制作
第5回	課題1：マーク（orキャラ）入り名刺制作、Portfolio本制作（課題3）説明
第6回	課題1：マーク（orキャラ）入り名刺制作、Portfolio制作（構成構築）
第7回	講評、課題3：講評、Portfolio制作（構成チェック）
第8回	演習2：アバター（orUI）トレース演習、Portfolio制作（構成チェック）
第9回	課題2：アバターキャラorUIデザイン、コンセプト、Portfolio制作（構成チェック）
第10回	課題2：アバターキャラorUIデザイン、ラフ作成、Portfolio制作（作業）
第11回	課題2：アバターキャラorUIデザイン、制作、Portfolio制作（作業）
第12回	課題2：アバターキャラorUIデザイン、制作、Portfolio制作（作業）
第13回	課題2：アバターキャラorUIデザイン、制作、Portfolio制作（配置）
第14回	課題2：アバターキャラorUIデザイン、制作、Portfolio制作（配置）
第15回	講評：全体講評、PortfolioPDFデータ提出

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科 マンガコース											
プロダクションワーク 2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	45	単位	3
担当教員	井上篤史			実務 経験	有	職種	コンテンツ制作				
授業概要											
<p>今までに養った知識に基づいて、作品の制作意図や演出にこめられた技術、消費者視点では気づかない表現を読み取り、自分の言葉としてそれらを構築し、文章と絵を用いて表すことができるようになることを目的とする。評論とは異なり、みずからの創作を前提とした作品鑑賞であるため、考察の道程で発生する事実誤認や勘違いなどは、大いに容認する。</p>											
到達目標											
<p>作品を鑑賞し、「おもしろい」か「おもしろくない」かではなく、何をどのように表現しているか、作者はどのようにしてこの題材を選んだのか、この演出の意図は何か、なぜそのような演出を選択したのか、といった点を考察し、物語を自分のなかで再構成し、その魅力を発信することを到達目標とする。</p>											
授業方法											
<p>毎回、作品を選定し、映像作品を鑑賞し、考察の時間を設ける。鑑賞の前後には解説を行い、作品考察のヒントとなる情報を提供する。その後、考察カードにレポートを記述する。</p>											
成績評価方法											
<p>作品鑑賞後、作成するレポートの内容について評価する。</p>											
履修上の注意											
<p>作品に込められた意図、演技プラン、構図など、細部への観察が必要なため、私語やスマートフォンの操作などは禁止する。授</p>											
教科書教材											
<p>毎回、映像作品を上映する。授業によっては、著作権法に定める引用の範囲内において、資料を配布する。</p>											
回数	授業計画										
第1回	ログライン①。ログラインの重要性を理解する。										
第2回	ログライン②。作品を鑑賞し、物語のログラインを記述できる。										
第3回	神話の法則について①。物語の始祖である神話に用いられている法則を理解する。										

プロダクションワーク 2

第4回	神話の法則について②。地域ごとに異なる神話の法則について理解する。
第5回	作品の歴史について①。さまざまなジャンルを通して、作品の成立と発展の歴史を理解する。
第6回	作品の歴史について②。現代の作品と今後のあり方について理解する。
第7回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、成立の背景に基づいて理解を深める。
第8回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、物語の構成について理解する。
第9回	発展と複雑化。物語の進め方について理解する。
第10回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、第三幕の理解についてレポートを制作する。
第11回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、制作の背景について理解できたか、レポートを制作する。
第12回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、プレゼン資料を作成する①
第13回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、プレゼン資料を作成する②
第14回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、観察力を鍛える。
第15回	まとめ。作品を鑑賞し、レポートを制作する。